



# MacBook Air 11インチ Early 2015のヒートシンクの交換

お持ちのMacBook Air 11インチ Early 2015のヒートシンクを交換します。

作成者: Sam Goldheart



## はじめに

このガイドを参照して、損傷したヒートシンクや放熱グリスを交換しましょう。

### ツール:

- Arctic Silver ArctiClean (1)
- Arctic Silver 放熱グリス (1)
- MacBook Air 星形ペンタローブネジ用ドライバ (1)
- スパッジャー (1)
- T5トルクスドライバー (1)

### 部品:

- MacBook Air 11" (Mid 2013 to Early 2015) Heat Sink (1)

## 手順 1 — 下部ケース



- ① まず、コンピューターをシャットダウンし、柔らかい素材の表面上に天面を下にして置きます。
- 以下の10本のネジを外します：
  - 星型ペンタローブネジ 8mm 2本
  - 星型ペンタローブネジ 2.5mm 8本
- ① 星型ペンタローブネジを外す際に必要な特別ドライバーは[こちら](#)で購入できます。

## 手順 2



- ディスプレイと下部ケースの間に指を入れ、下部ケースを引き上げて外します。

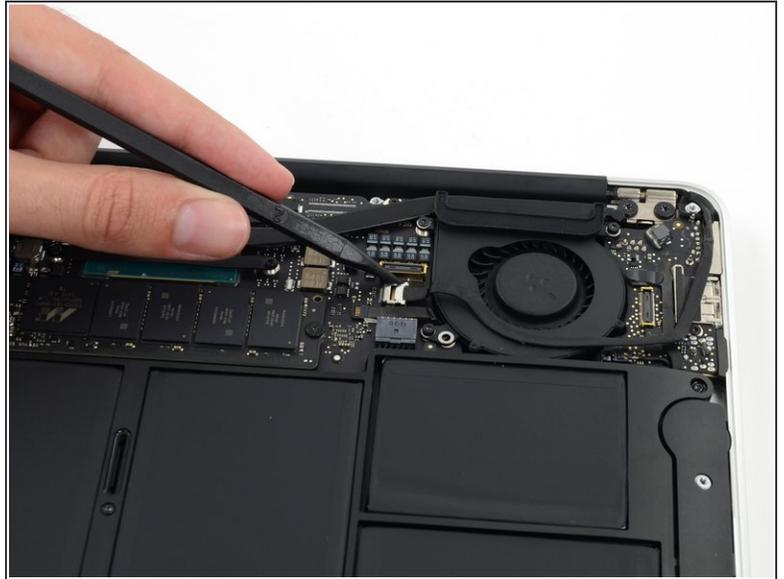
### 手順 3 — バッテリーコネクタ



**⚠ 作業中に部品がショートするのを防ぐためにバッテリーを取り外します。**

- スパジヤの平面側先端を利用し、バッテリーコネクタを持ち上げてロジックボードのソケットから外します。
- ロジックボードから外したコネクタのケーブルをわずかに曲げて、コネクタ部分が誤ってソケットに接触しないようにします。

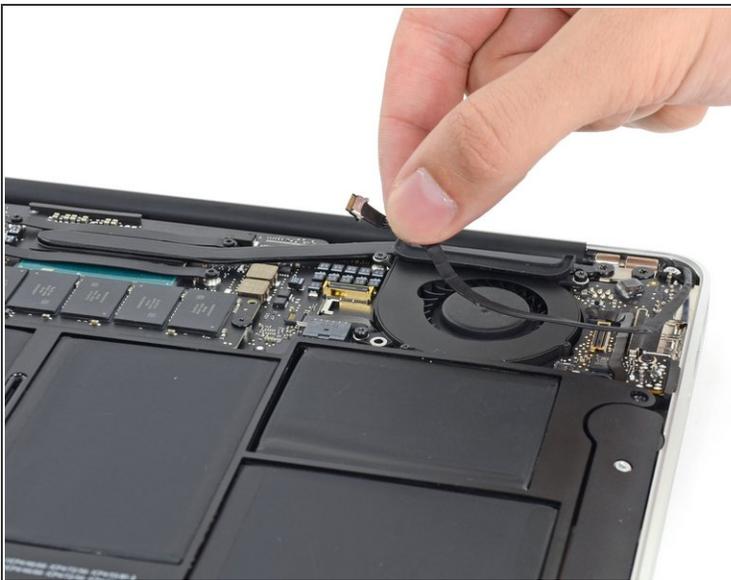
## 手順 4 — ファン



- スパッツァーの先端を使って、iSightカメラケーブルのコネクタの両側を慎重に押さえて、ロジックボード上のソケットからコネクタの接続を緩めます。

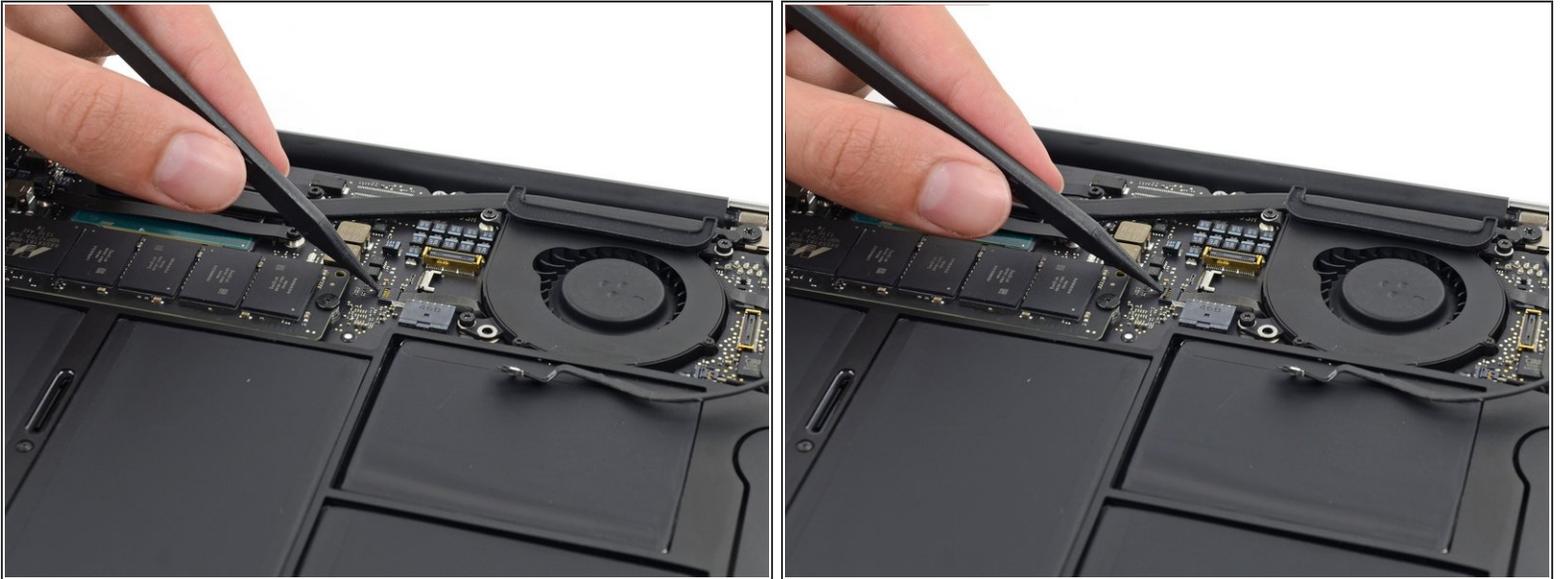
ⓘ ソケットからコネクタを外す際は、慎重にずらしながら作業を行なってください。

## 手順 5



- ファンに留められた接着剤からiSightカメラケーブルを剥がします。

## 手順 6



- スパッツァーの先端を使って、ファンケーブルのZIFソケット上の固定フラップを注意深く跳ね上げます。

⚠ ソケットではなく、蝶番で動く固定フラップのみを跳ね上げているか確認してください。

## 手順 7



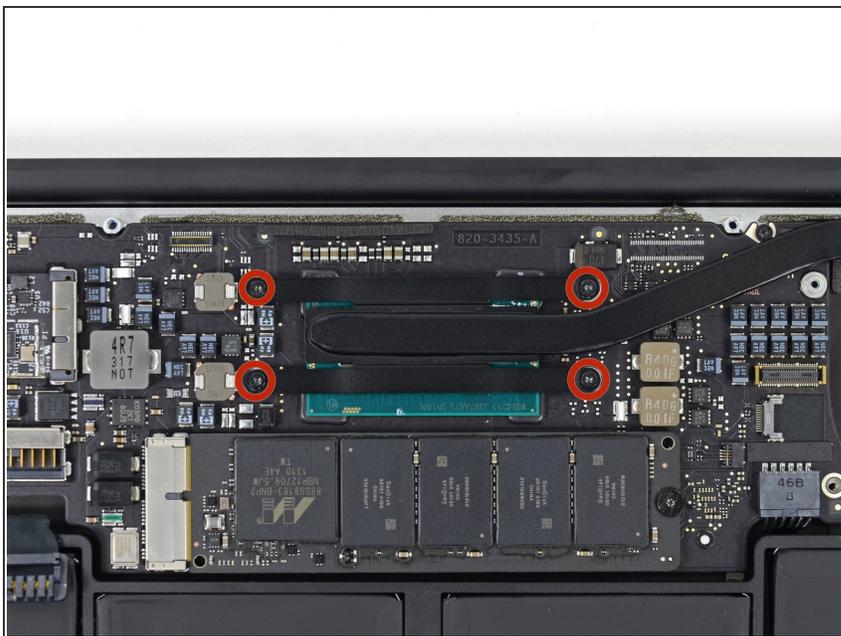
- 上部ケースをファンに固定している次の3本のネジを外します。
  - 5.5 mm T5トルクネジ—2本
  - 4.6 mm T5トルクネジ—1本
  - ⓘ あるモデルによっては、このサイズの代わりに3.6 mm T5トルクネジが使用されています。

## 手順 8



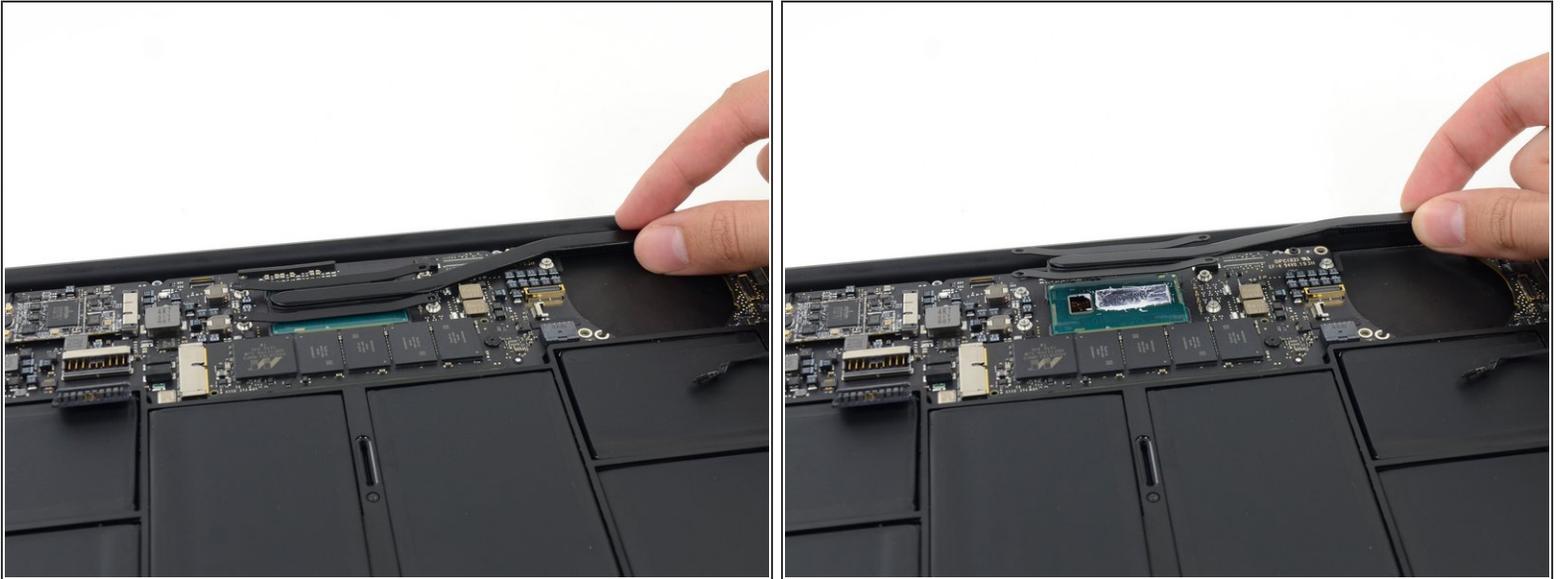
- ファンを持ち上げますが、上部ケースの底からファンを完全に取り出さないでください。
- Airからファンを取り出す際に、ソケットからファンのリボンケーブルを慎重に引き抜いてください。

## 手順 9 — ヒートシンク



- ヒートシンクをロジックボードに固定している2.5mm T5トルクスネジを4本外します。

## 手順 10



- ① 4本全てのネジを外した後も、ヒートシンクはロジックボードから外れない場合、スパッジャーを使って、ヒートシンクをCPUの表面から慎重に外してください。
- ロジックボードからヒートシンクを取り出します。
- ☑ ヒートシンクを再装着する際は、[放熱グリス](#)を新しく塗布してください。今まで放熱グリスを扱ったことがない方向けに、簡単に出来る[ガイド](#)を用意しています。

デバイスを再度組み立てるには、この説明書の逆の順番で組み立ててください。